

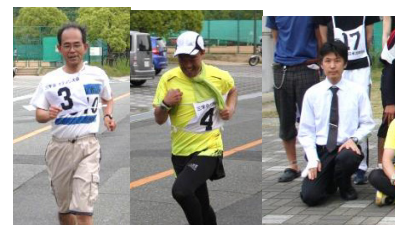
# 第26回インターカレッジ学生研究会&ロードレース大会

博士前期課程 1年 重政 拓海

平成 24 年 5 月 16 日 (水)、大阪大学吹田キャンパスにて第 26 回インターカレッジ学生研究会ならびにロードレース大会が行われた。本研究会は海洋系の大学に所属する学生が大学の枠を超えて現在進行中の研究内容を発表し、日頃の指導教員のみならず他大学の教員をはじめとする研究会への参加者から多様な意見を受けるとともに、学生同士の交流を目的としている。また、研究会の後は恒例行事となっている 10km ロードレース大会、そして懇親会を行うといった今回で 26 回目を迎える伝統ある行事である。

研究会には東京大学、大阪大学、神戸大学、大阪府立大学、広島大学の教員、学生 34 名が参加しそのうち 11 名が研究発表を行った。私は、「FEM を用いた溶接変形解析」といった構造系の分野に関する研究内容の発表を行ったが、流体系の内容やエネルギー・資源の内容等、これまで聞くことがなかった他大学の他分野の研究内容について聞くことができ貴重な機会となった。

ロードレース大会は活発な教員、学生 20 名程に加えて、大阪大学の学生方の運営によって行われた。大阪大学キャンパスの内外を走るコースは高低差が非常に激しく、急な坂道が何度も待ち構えておりとても辛かった。吹田キャンパスは敷地内に大学病院がありナース服を着た看護師の方が歩いているため、数名のランナーはそれに見とれて遅れてしまったと言っていた。(笑) そのおかげもあってか僕は接戦の末なんとか個人賞 1 位になることができ、団体賞も府大として 2 位をとることができたので良かった。また、参加者全員が時間内に 10km を完走でき、みんな達成感を感じているように思えた。



走った後は懇親会が行われた。この時の最初の乾杯でのビールはこれまでで一番美味しく感じた。また、他大学の学生とお酒を交わしながら、互いの大学の話やたわい無い話をして交流することができて有意義な時間となった。表彰式では賞状と毎年受け継がれてきているトロフィーを頂いた。来年は広島大学開催らしいので、トロフィーを返還しに来年も是非参加したいと思った。

